

# コーティングオプション 作業マニュアル

● レンズコーティング

● ホイールコーティング (シングル・ダブル・マットホイール)

● 無塗装樹脂パーツキーパー

● 超撥水ガラスコーティング

# コーティングオプション 作業の流れ

(例) EXキーパー  
作業時の場合



洗車	洗車		洗車	洗車
脱脂工程	爆ツヤ	ホイールクリーニング	爆ツヤ	油膜取り
プライマーガラス				
VP326				
コーティングホールド 仕上げ	ポリカコート	ホイールコーティング2	無塗装樹脂パーツキーパー (コーティングホールド)	ウィンドウガラスフッ素

作業方法はP3へ

作業方法はP4へ

作業方法はP6へ

作業方法はP8へ

# レンズコーティング

## レンズコーティングで使用するツール

- ポリカコート
- マイクロスポンジ
- ダイヤクロス
- 爆ツヤ
- 爆ツヤ専用小分けボトル
- スポンジ 青



## 施工箇所

- 1 ヘッドライト
- 2 ウィンカー
- 3 フォグランプ
- 4 ハイマウントストップランプ
- 5 テールレンズ
- 6 リフレクター
- 7 バイザー (オプション)



※全てのレンズ類で2~3パウチ使用

**注意: 開封前に5~10回程度、コーティング剤をパッケージの上からよく揉みほぐしてから開封する。**

※ジェル状の塊がある場合がありますが、コーティングの性能には問題ありません。

## STEP.1 洗車・脱脂工程

### 1 洗車を行い

全てのレンズ類を「爆ツヤ」で洗浄し  
水で良く洗い流す

- 注意**
- 「爆ツヤ」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール  
●爆ツヤ  
●爆ツヤ専用小分けボトル  
●スポンジ 青



### 2 「快洗Taoる」または「キーパークロス」で レンズ類の水気を拭き取る

- 参考**
- タオルで拭けない隙間の水は、エアガンで飛ばします。



使用ツール  
●快洗Taoる



## STEP.2 ポリカコート

### 1 「ポリカコート」を 「マイクロスポンジ」に適量取り ヘッドライトに満遍なく塗り広げる

- 参考**
- ヘッドライト1個で「ポリカコート」半分程度を使用。水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。

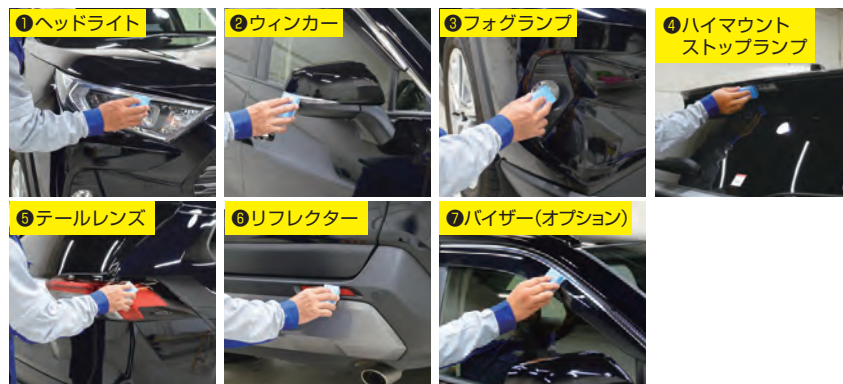


### 2 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取る

- 参考**
- 塗装面、ガラス面に「ポリカコート」が付いた場合は一緒に拭き取ってください。



### 3 全てのレンズ類に12の作業を行う



- 注意**
- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

# ① ホイールコーティング (シングル・ダブル)

## ホイールコーティングで使用するツール

- ホイールコーティング2
- マイクロスポンジ
- ダイヤクロス
- ホイールクリーナー
- ホイール用スポンジ



## 施工箇所

- アルミホイール4本



※ホイール4本で4パウチ使用

**⚠ 注意: マット塗装のホイールには施工できません。**

**⚠ 注意: 開封前に5~10回程度、コーティング剤をパッケージの上からよく揉みほぐしてから開封する。**

※ジェル状の塊がある場合がありますが、コーティングの性能には問題ありません。

## STEP.1 ホイールクリーニング

- ① ホイールを「ホイールクリーナー」で洗浄し  
水で良く洗い流す



注意

- 「ホイールクリーナー」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール  
●ホイールクリーナー



- ② 「快洗Taoる」でホイールの水気を拭き取る



参考

- タオルで拭けない隙間の水は、エアガンで飛ばします。



使用ツール  
●快洗Taoる



## STEP.2 ホイールコーティング2

- ① 「ホイールコーティング2」を  
「マイクロスポンジ」に適量取り  
ホイール半分に満遍なく塗り広げる

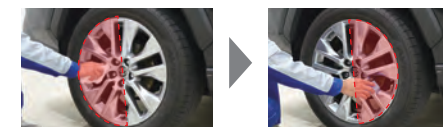


参考

- ホイール半分で、「ホイールコーティング2」半分程度を使用。
- 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。
- 細かい形状のホイールの場合は「マイクロスポンジ」を斜めにカットして使用すると塗り広げやすくなります。



- ② 乾いた「ダイヤクロス」で拭き取り  
残り半分にも①②の作業を行う



注意

- 「ホイールコーティング2」はとてもサラサラとした触り心地です。そのため拭き残しが分かりづらいためクロス面を定期的に換える。隙間なく拭き上げることが重要。

- ③ 別のキレイな「ダイヤクロス」で仕上げ拭きを行い  
全てのホイールに①~③の作業を行う  
シングルの場合はここで作業終了

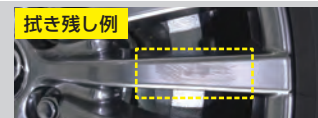


注意

- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

**⚠ もし、拭き残してしまったら…**

拭き残しは時間が経つと白く残ります。「硬化」して拭き取れない場合、「内窓クリーナー」でダイヤクロスを湿らせゆっくり拭き、再度施工してください。



## ホイールコーティング (ダブル) の場合

- STEP.1 ~ STEP.2 の作業を行う
- 硬化時間を1時間置く
- 再度、STEP.2 の作業を行う



注意

- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。

## ② ホイールコーティング (マットホイール)

### マットホイールコーティングで使用するツール

- KeePer マット塗装ホイール用「馬毛ブラシ」
- マットテクスチャ ガラス
- マットテクスチャ スポンジ
- ダイアクロス
- マットテクスチャ レジン
- レジン用スポンジ ● ホイールクリーナー
- レジnkロス ● ホイール用スポンジ



(馬毛ブラシ)

### 施工箇所

- マットホイール4本



### STEP.1 ホイールクリーニング

- 1 「ホイールクリーナー」と「ホイール用スポンジ」でホイールを洗浄し、水で良く洗い流す

- 注意**
- 「ホイールクリーナー」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール  
● ホイールクリーナー



### STEP.2 マットテクスチャ ガラス

ホイールが濡れた状態で作業を行ってください。

- 1 水で湿らせた「マットテクスチャ スポンジ」に「マットテクスチャ ガラス」をスプレーし満遍なく塗り広げる



- 2 「ダイアクロス」で拭き上げる

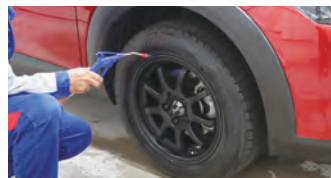
- 3 全てのホイールに①～②の作業を行う

- 参考**
- スポンジを斜めにカットして使用すると塗り広げやすくなります。



- 4 エアガンで隙間の水を飛ばし、拭き取る

- 参考**
- ケミカルが硬化する前に拭き上げてください。



### STEP.3 マットテクスチャ レジン

ホイールが乾いた状態で作業を行ってください。

- 1 「レジン用スポンジ」に「マットテクスチャ レジン」を適量付け、満遍なく塗り広げる

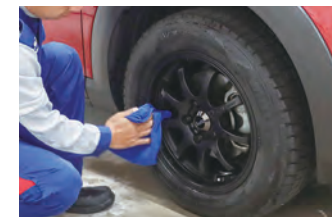
- 参考**
- スポンジを斜めにカットして使用すると塗り広げやすくなります。

- 注意**
- 塗りムラが目立つのでしっかり塗り広げること。



- 2 「レジnkロス」で拭き上げる

- 3 全てのホイールに①～②の作業を行う



- 4 「馬毛ブラシ」でコーティング被膜をタテヨコナメに掻き出す

- 注意**
- 「馬毛ブラシ」は都度レジnkロスのキレイな面で余分なケミカルを拭き取る。



# 無塗装樹脂パーツキーパー

## 無塗装樹脂パーツキーパーで使用するツール

- ベストブラックⅡ
- マイクロスポンジ
- ダイアクロス
- 爆ツヤ
- 爆ツヤ専用小分けボトル
- スポンジ 青



## 施工箇所

- 全ての無塗装樹脂パーツ
- または各パーツ単品施工  
(フェンダー・ワイパーカウル・メッシュグリル等)



## STEP.1 洗車・脱脂工程

### ① 洗車を行い

無塗装樹脂パーツを「爆ツヤ」で洗浄し  
水で良く洗い流す

#### ⚠ 注意

- 「爆ツヤ」を水で良く洗い流すこと。

使用ツール  
● 爆ツヤ  
● 爆ツヤ専用小分けボトル  
● スポンジ 青



### ② 「快洗Taoる」で無塗装樹脂パーツの水気を拭き取る

#### ⚠ 注意

- 水気が残っているとコーティングのムラ付きの原因になるため、しっかりと拭き取ること。

#### 👉 参考

- タオルで拭けない隙間の水は、エアーガンで飛ばします。

使用ツール  
● 快洗Taoる



## STEP.2 無塗装樹脂パーツキーパー

### ① 「ベストブラックⅡ」を

「マイクロスポンジ」に適量取り  
無塗装樹脂パーツ約1m幅に  
満遍なく塗り広げる

#### 👉 参考

- 液剤がサラサラしているため「マイクロスポンジ」に取り過ぎないようにしてください。
- 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。



## STEP.2 無塗装樹脂パーツキーパー

### ① 「ベストブラックⅡ」を

「マイクロスポンジ」に適量取り

無塗装樹脂パーツ約1m幅に満遍なく塗り広げる

#### 👉 参考

- 液剤がサラサラしているため「マイクロスポンジ」に取り過ぎないようにしてください。
- 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。



### ② 乾いた「ダイアクロス」で拭き取る

#### 👉 参考

- 塗装面、ガラス面に「ベストブラックⅡ」が付いた場合は一緒に拭き取ってください。



### ③ 全ての無塗装樹脂パーツに①②の作業を行い、

塗り漏れ、ムラ付きが無いか確認



#### ⚠ 注意

- 施工後6時間以上、水がかからないようにすること。
- コーティングの塗り漏れ、ムラ付きがある場合は、再度コーティングを施工すること。

### ※各パーツ単品施工の場合は

**STEP.1・2** を注文を受けたパーツのみに行います。

#### 👉 参考

- 施工後は6時間の自然硬化、もしくは「コーティングホールド」の作業を行う



## ② 無塗装樹脂パーツキーパー(コーティングホールド)

### STEP.3 6時間の自然硬化またはコーティングホールド

6時間の自然硬化、

もしくは「コーティングホールド」の作業を行う

📌 参考

● 「コーティングホールド」を施工した場合、雨天でも硬化時間を待たずに引き渡しが可能です!

⚠️ 注意

● 「コーティングホールド」はベストブラックII施工後、必ず「10分間置いてから」作業する



#### コーティングホールドを行う場合の使用ツール

- コーティングホールド
- コーティングホールド用蓄圧式スプレー
- キーパークロス
- 純水
- 純水用蓄圧式スプレー
- 快洗Taoる



① 樹脂パーツに「コーティングホールド」を蓄圧式スプレーで噴霧する



② 「コーティングホールド」を噴霧した「キーパークロス」でベストブラックIIを拭き押さえる



③ ベストブラックIIに蓄圧式スプレーなどで「純水」をたっぷりかける



④ 「快洗Taoる」で、ボディにかけた「純水」を拭き上げる



⑤ 窓、レンズ類、樹脂パーツを、水で固く絞った「キーパークロス」で拭き上げる



⑥ 水滴残りがなければ確認する



# 超撥水ガラスコーティング

## 超撥水ガラスコーティングで使用するツール

- ウィンドウガラスフッ素
- 専用スポンジ
- グラスポリッシャーGPⅢ
- レジン2専用スポンジ(推奨)
- ダイヤクロス
- キーパークロス



## 施工箇所

- 窓ガラスフロント
- または窓ガラス全面



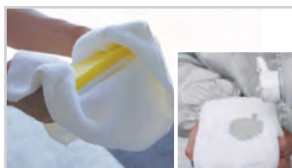
※運転支援システム「アイサイト」搭載車はフロントガラスへの塗布禁止。 ※フロントガラス約5～6台でウィンドウガラスフッ素1本使用

## STEP.1 洗車・油膜取り

- ① 洗車もしくは濡れたタオルで汚れを拭き取った後  
スポンジをクロスで包み、「GPⅢ」をつける

### 参考

- スポンジの硬い面(推奨:レジン用スポンジなど)をダイヤクロスで包む。



- ② 縦横に擦りながら油膜を除去する

### 注意

- ゴム部分、塗装面に「GPⅢ」が付かないようにすること。
- プラスチックガラスやミラーには使用できません。



- ③ 水で洗い流す。もしくは濡れたタオルで拭き取り、  
油膜が取れたか確認し、水滴を拭き取る。

### 参考

- タオルで拭けない隙間の水は、エアガンで飛ばします。
- 濡れタオルで拭いた際、画像左側のように水が全く弾かなくなればOK



油膜取り後の状態

油膜が取れた状態  
(水が全く弾いていない)

## STEP.2 ウィンドウガラスフッ素

- ① 「ウィンドウガラスフッ素」を  
ティッシュペーパーを巻いた  
「専用スポンジ」に適量取り  
フロントガラス1/4を1スパンとし  
タテヨコに満遍なく塗り広げる

### 参考

- 適量は、塗布面のティッシュ全体が湿る程度です。
- 水気が垂れてきている場合は「快洗Taoる」で拭き取ってから施工してください。

### 注意

- ガラス面用のためフィルム、ステッカーに塗布しないでください、



適量取る

フロントガラス1/4を1スパン

ティッシュ全体が  
湿る程度

- ② 残りのフロントガラス3/4に①の作業を行い  
15分以上乾燥させる



- ③ 乾いた「キーパークロス」でしっかりと拭き上げる

### 注意

- 施工後1時間以上、水がかからないようにすること。



※窓ガラス全面の場合は

**STEP1,2** を窓ガラス全面に行います。

